

第3期  
事業自己評価  
(2022.1～2023.3)

彦根子どもサポートネットワーク

# ■評価について

以下の方法で実施しました。

## 1. 対象

- 1-1 保護者
- 1-2 学生スタッフ
- 1-3 一般スタッフ
- 1-4 運営者

## 2. 方法

全員無記名で実施

## 3. 評価

上記 1-1 から順を追って実施。最後に運営者による評価を行いました。

## 4. 評価対象事業

- あそび家くまぐま
  - 1-1 居場所事業
  - 4-2 子ども食堂
  - 4-3 地域連携・体験・野外遠足事業
  - 4-4 制作事業
  - 4-5 学習支援事業
  - 4-6 子ども・若者支援事業

## 5. その他

個人の生活状況やそれを取り巻く環境についても、調査を実施しました。



## ■総評

2022年は居場所を47回開催しました。今年からは「開きたい人がいたら、開けられる人で開ける」という方法に切り替えて開催したところ、ほぼ毎週末空いている状態となりました。毎週欠かさず来てくれる子どもやスタッフも増えてきたり、毎週あるこの時間を楽しみにしてくれる子もいました。

子ども食堂も、ほぼ全ての回において、併設開催しました。今年も「ごはん家くまぐま+」のスタッフと一緒についたり、近江チャンポン発祥の店「麺類をかべ」さんから昼食提供をいただきました。他にも児童やスタッフが一緒につくることもありました。

地域連携・体験については、2022年度からは、彦根市内を中心に進めてきました。身近な地域にある素敵なものを知ってもらいたいと、ハチミツ採りに参加させていただくなどしました。また会場のある彦根銀座商店街との交流を進めました。10月には商店街の各店舗へ予め配ったお菓子をもらいに、子どもたちがハロウィンの姿に仮装し、商店街をまわる「銀座まちなかハロウィン」を開催しました。報道関係者も訪れ、商店街からも「またやってほしい」と好評の企画でした。

子どもたちのそれぞれの個性や得意なことが活かしやすいよう、イラストやeスポーツなど、制作活動ができる時間も設けました。専門のスタッフを配置し、子どもたちと一緒に取り組みました。

課題点としては、やはり財政的な面です。本年度はこの他に滋賀県の「子ども食堂緊急助成」をいただきましたが、彦根市内からの財政的な支援はほぼありません。(過去にもほぼありませんでした)やはりどの人にも、身近に安心して過ごせる居場所は必要不可欠であること、そういった場を地域で支える仕組みづくりが早急に行わなければならないと考えています。

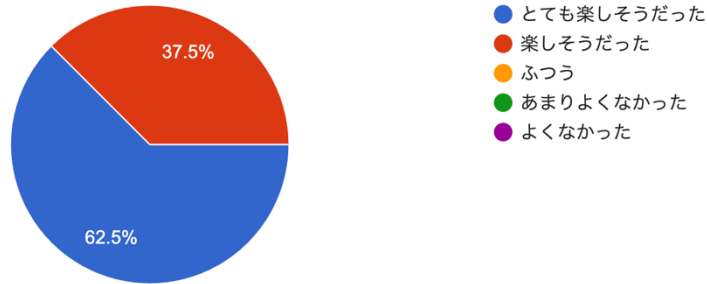


# ■第三期活動評価

## ●保護者の部

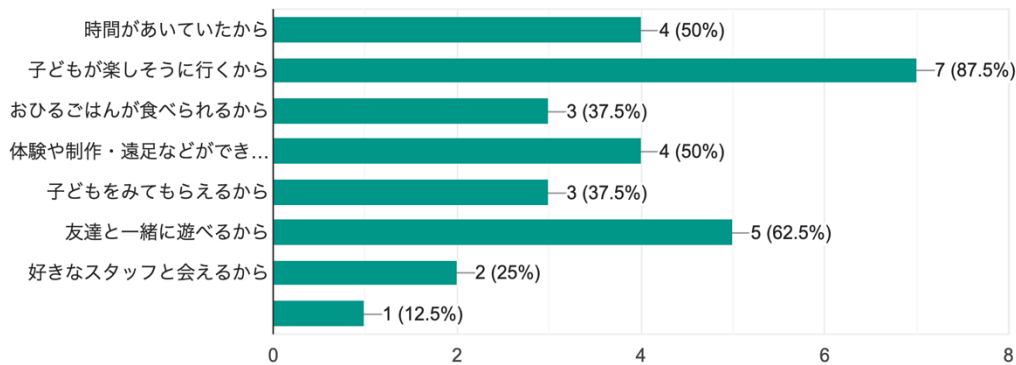
くまくまに参加されて、お子さんの様子はいかがでしたか？

8件の回答



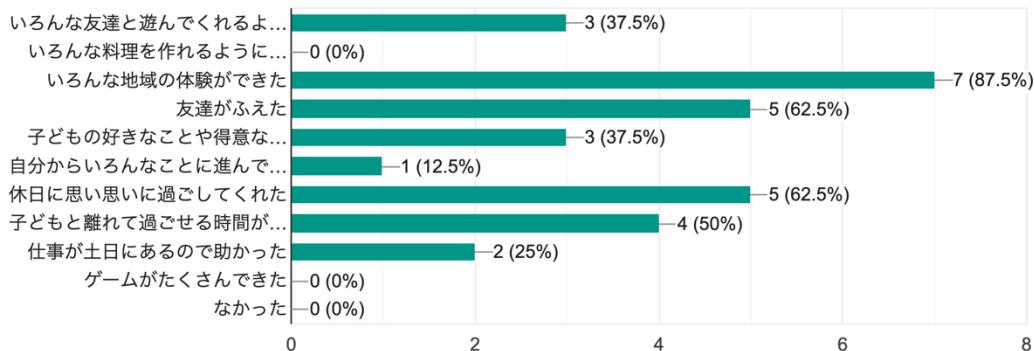
行くようになったきっかけは？

8件の回答



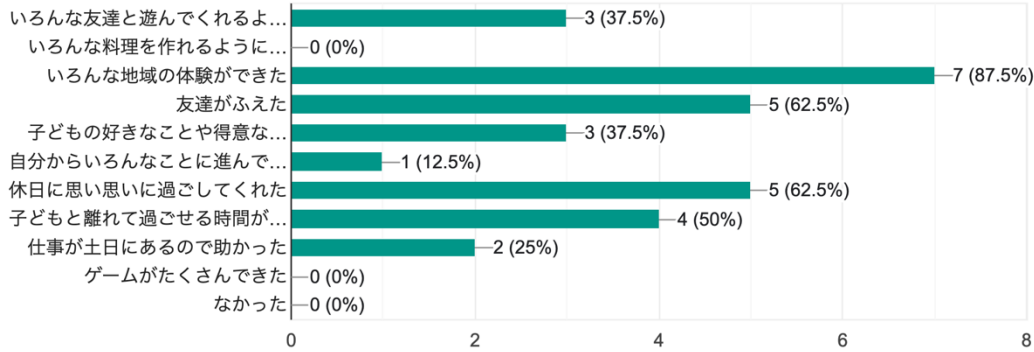
よかったことがあれば教えてください

8件の回答



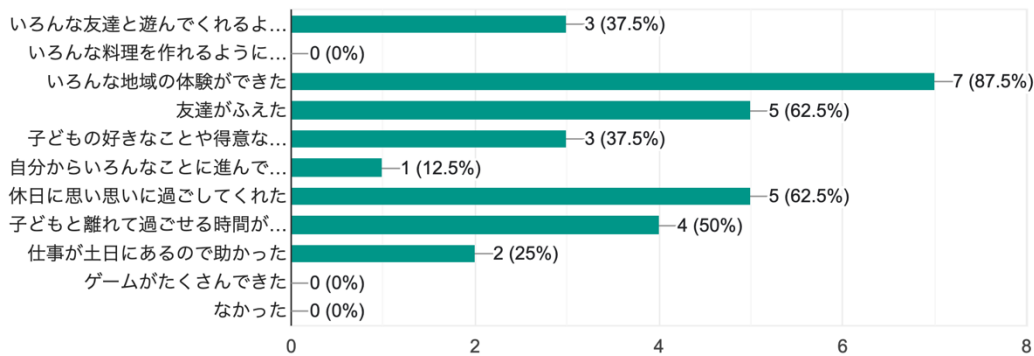
よかったことがあれば教えてください

8件の回答

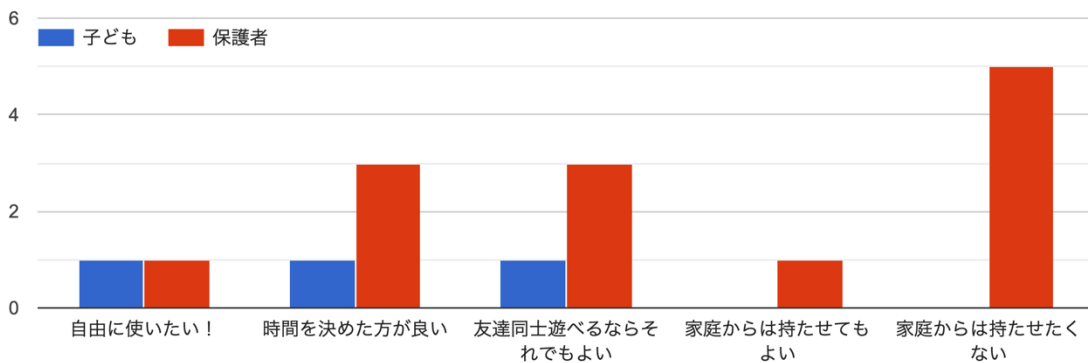


よかったことがあれば教えてください

8件の回答



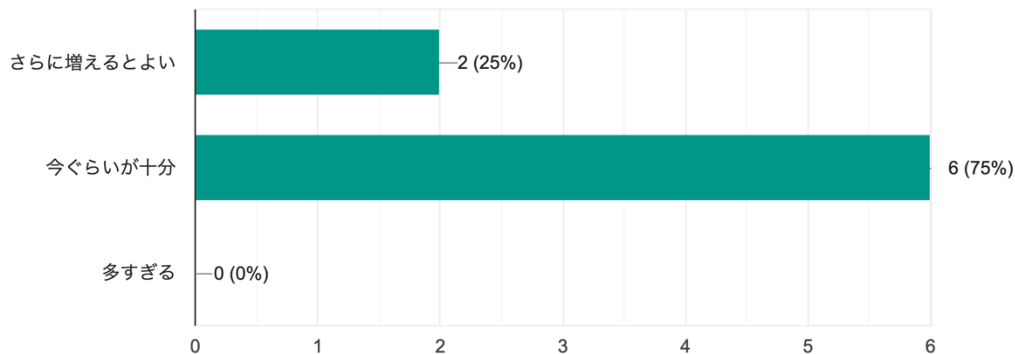
ゲームについてお尋ねします。



身近な地域に子ども食堂や子どもたちの居場所は十分ありますか？  
またその頻度はどの程度が望ましいですか？

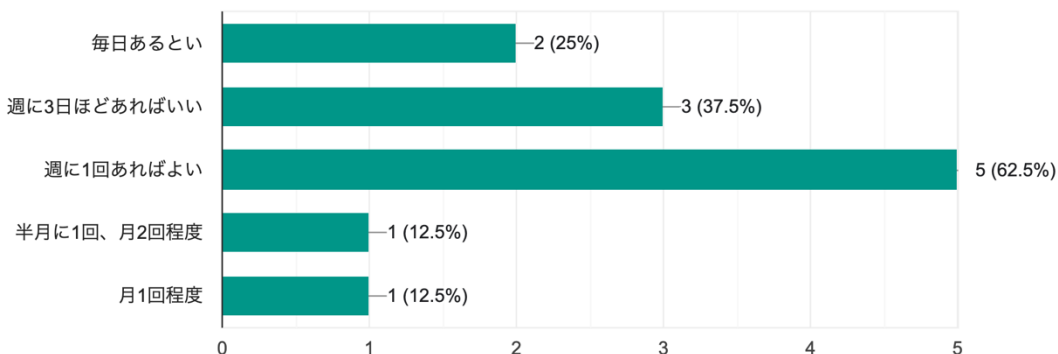
### 居場所や食堂の数

8件の回答

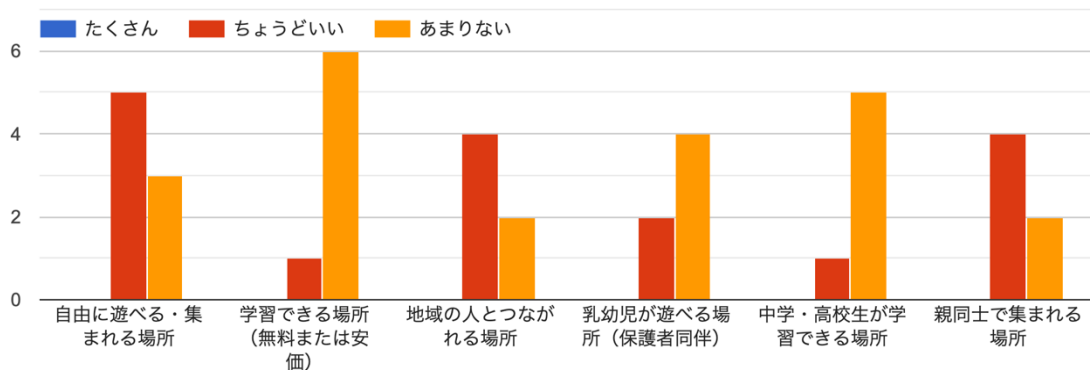


### 頻度について

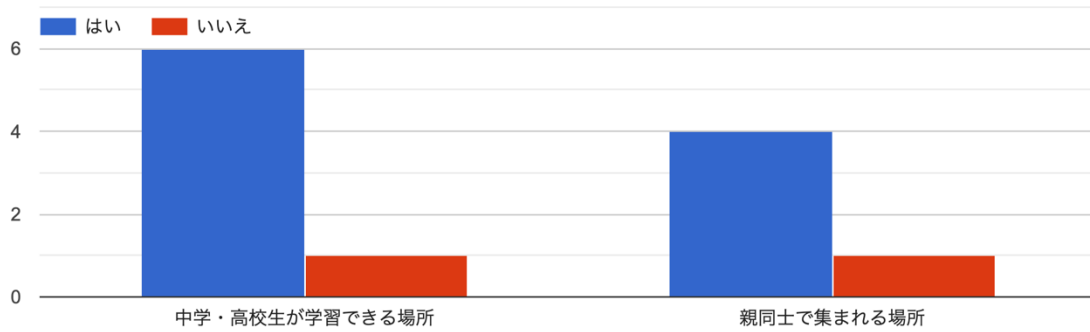
8件の回答



彦根市内の状況について、最も近いと感じるものを選んでください

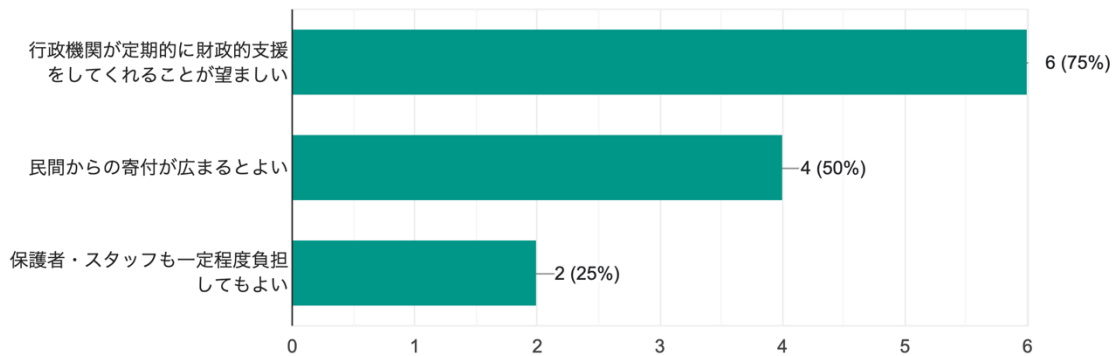


以下のものがあれば利用したいですか？

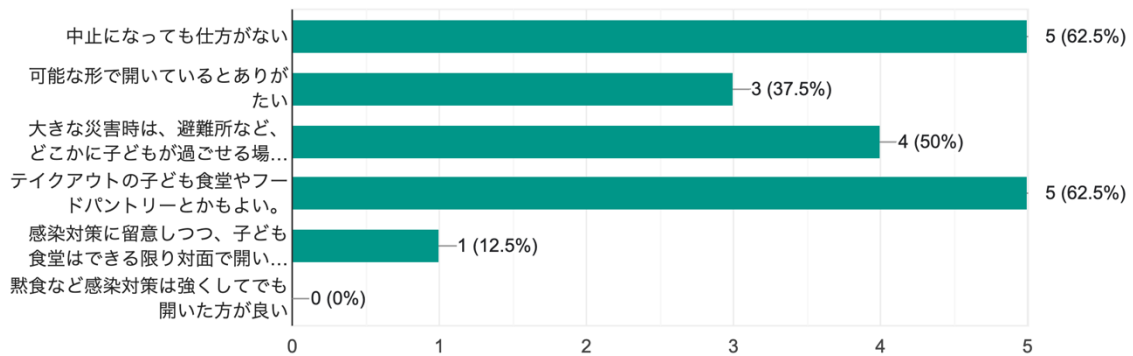


### 財政運営について

8件の回答



感染症が広がったり、災害が発生した場合、  
どのような居場所活動があるといいですか？



## ○参加児童の保護者から

### ○行くきっかけについて

- ・もともとくまくまに通われていた子がうちの子どもの友だちで、誘われたのが一番の理由ですが、その子がいなくても行くようになるくらい居心地がよいようです。
- ・支援級のためたくさんの友だちと遊ぶ機会をつくってあげたかった
- ・子どもとの交流を楽しんでいる
- ・家で兄妹と過ごすだけでなく、ほかの人との関わりが増えると良いなと思ったから

### ○来てよかったこと

- ・中学生になると休日あまり家族でいたがらないし、かといって部活もなく、アクティブでもない家でだらだら寝てることが多かったのが、くまくまがある、と思うと動けるようで、こちらも安心して行かせることが出来るので助かっています。
- ・家だと小さな子がいて、あまり好きなことをさせてあげられないのでありがたいです。

### ○気になること

- ・学業との両立が難しい

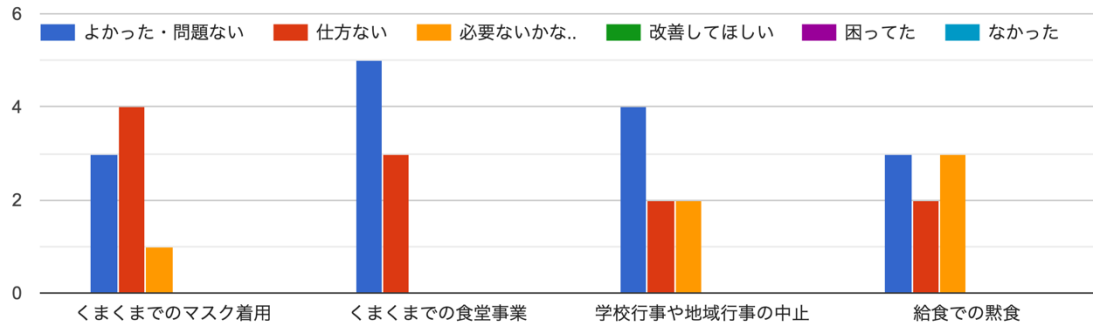
### ○ゲームについて

- ・ゲームに関しては悩む所です……本当はせっかくくまくま行くんだからゲームから離れて……と思ってはいたのですが……持参してもいいけど、時間を決めるとか……ずっとゲームやりっぱなしでは無くて、違う事でも楽しめる様になって欲しいなと思う所です
- ・ゲームはスタッフが持ってくるのは良いが小学生が持ってくるのはあまり良くないのでは



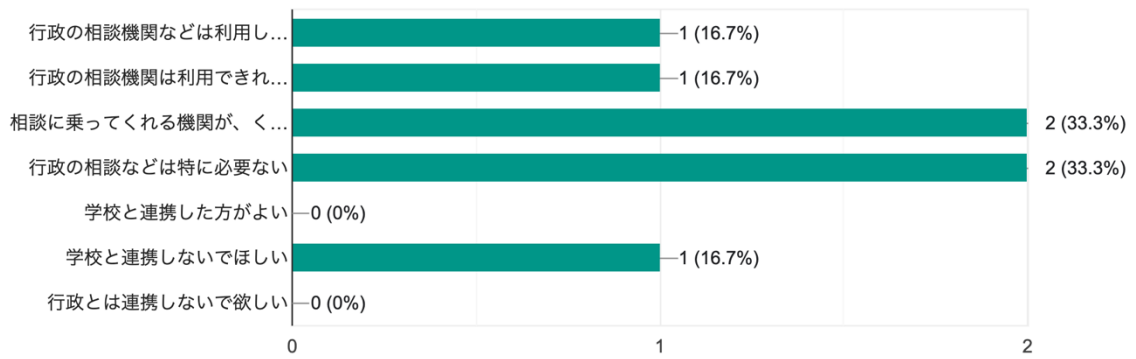


## コロナ禍について



## 行政・学校との連携について

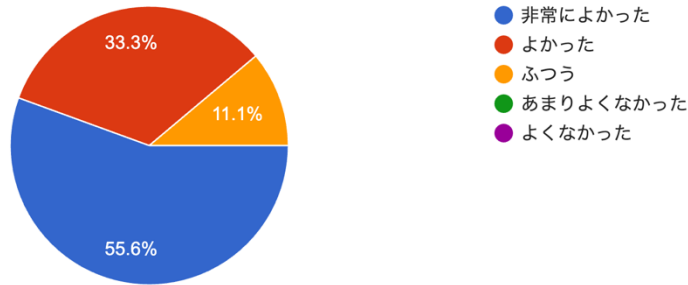
6件の回答



## ●スタッフの部

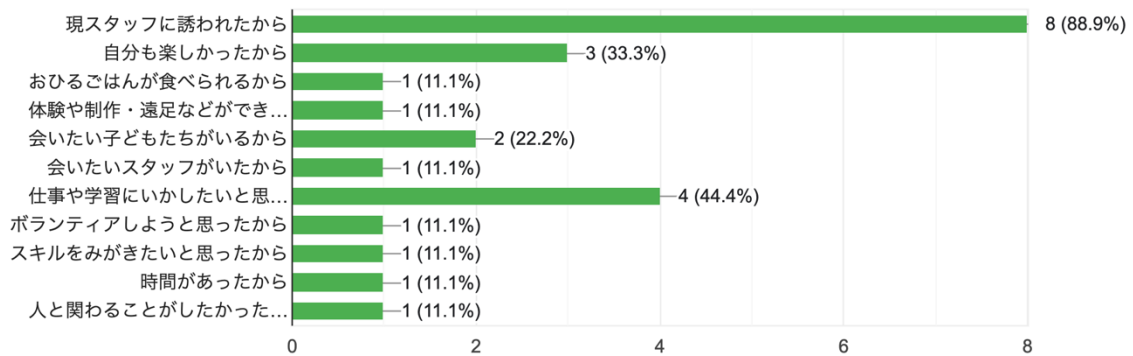
くまくまに参加してどうでしたか？

9件の回答



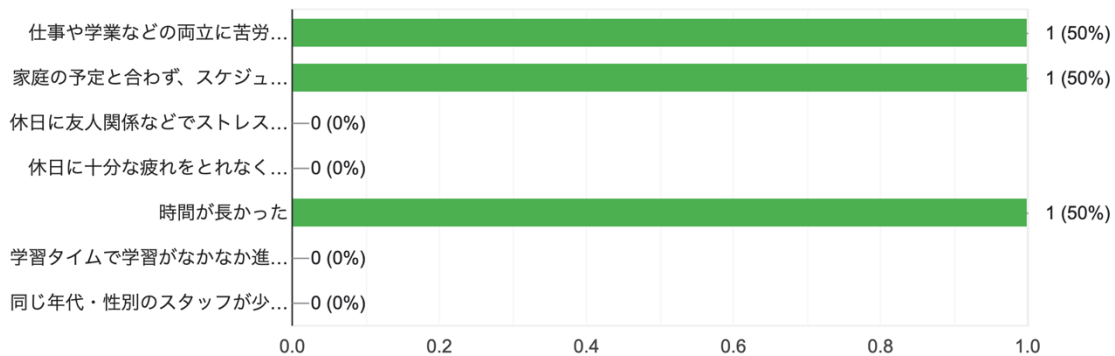
行くようになったきっかけは？

9件の回答

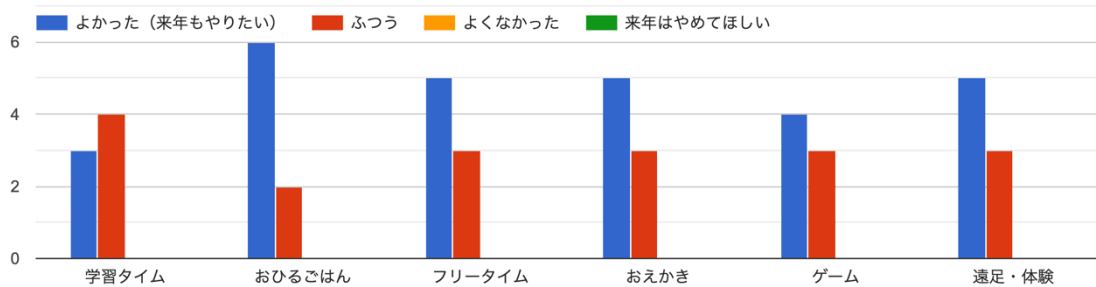


困ったことがあれば教えてください

2件の回答

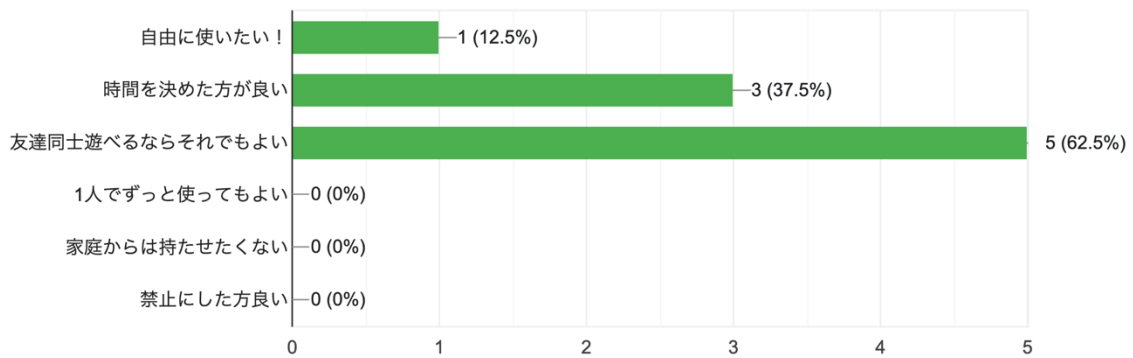


## 各活動について



## ゲームについてお尋ねします。

8件の回答



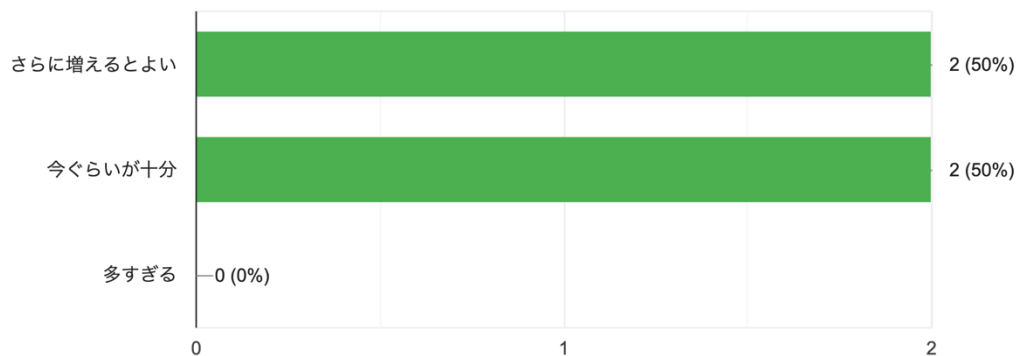
## ●学生スタッフのみ

身近な地域に子ども食堂や子どもたちの居場所は十分ありますか？

居場所や食堂の数

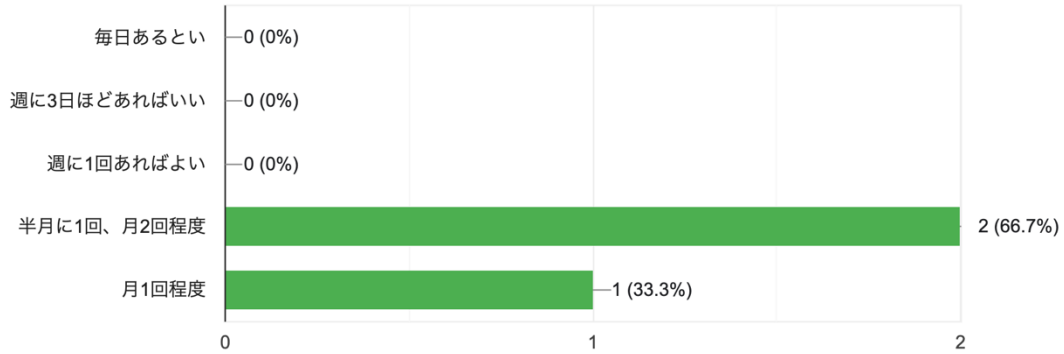
またその頻度はどの程度が望ましいですか？

4件の回答

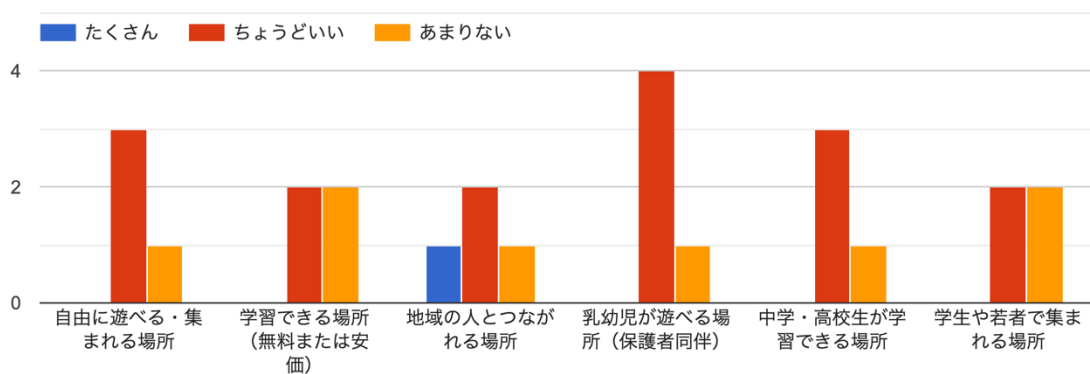


### 頻度について

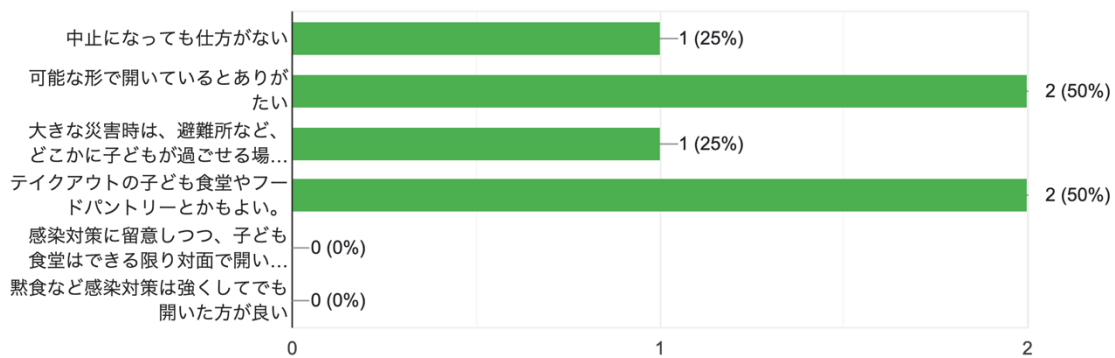
3件の回答



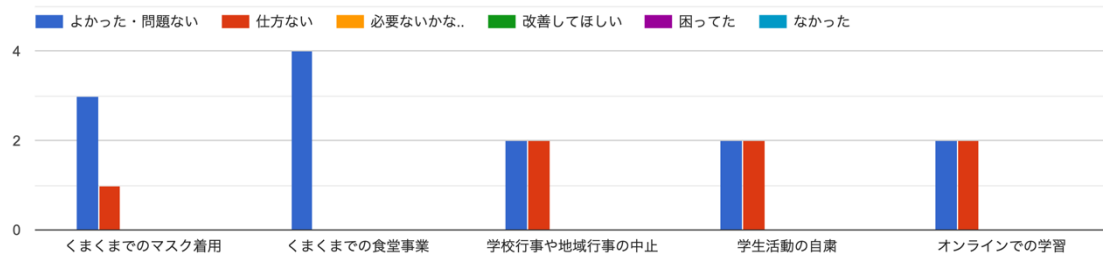
彦根市内の状況について、最も近いと感じるものを選んでください



感染症が広がったり、災害が発生した場合、どのような居場所活動があるといいですか？

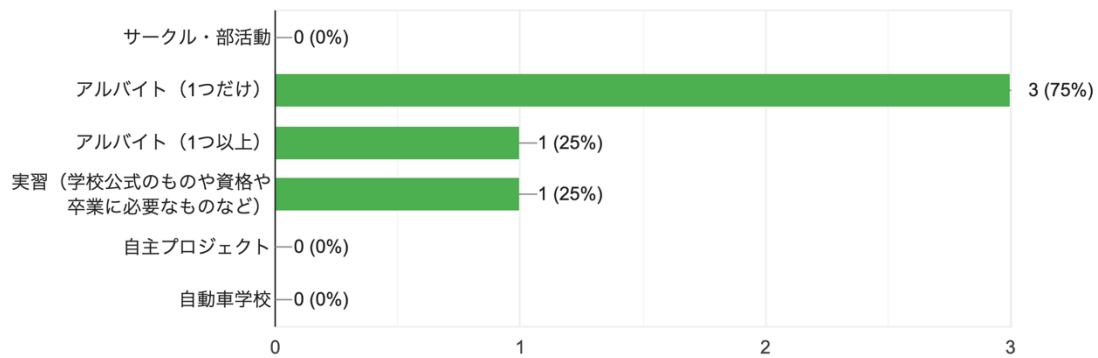


## コロナ禍について



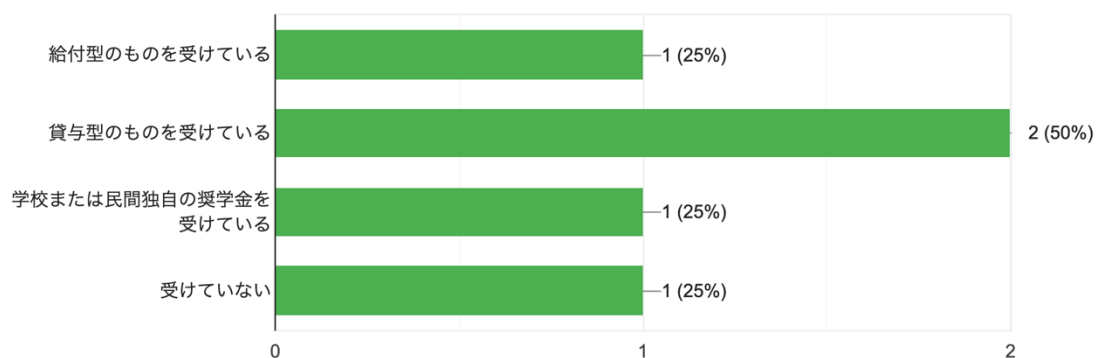
## 今取り組んでいることについて教えてください

4件の回答



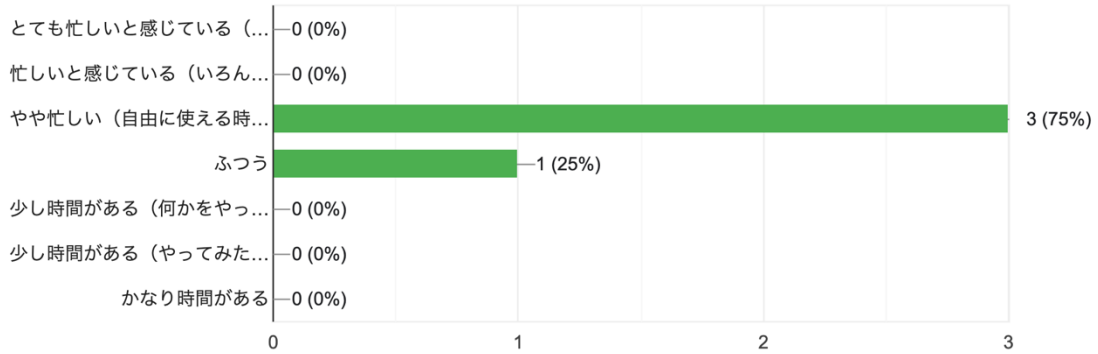
## 奨学金について

4件の回答



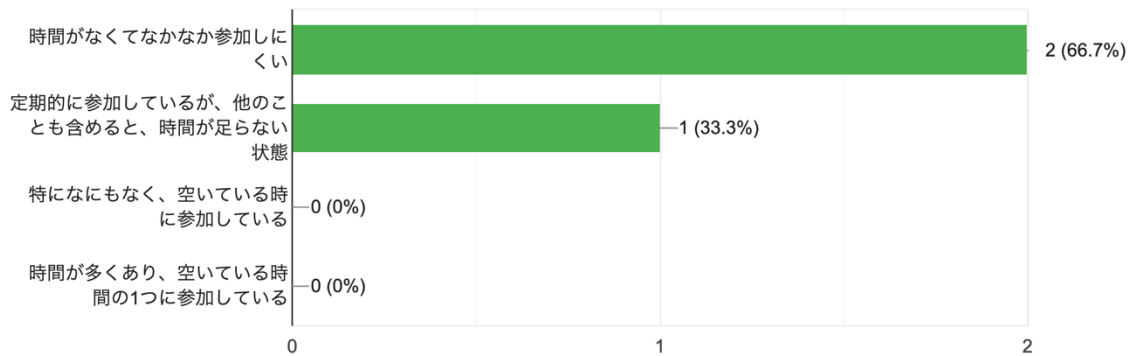
### 学生の時間について

4件の回答



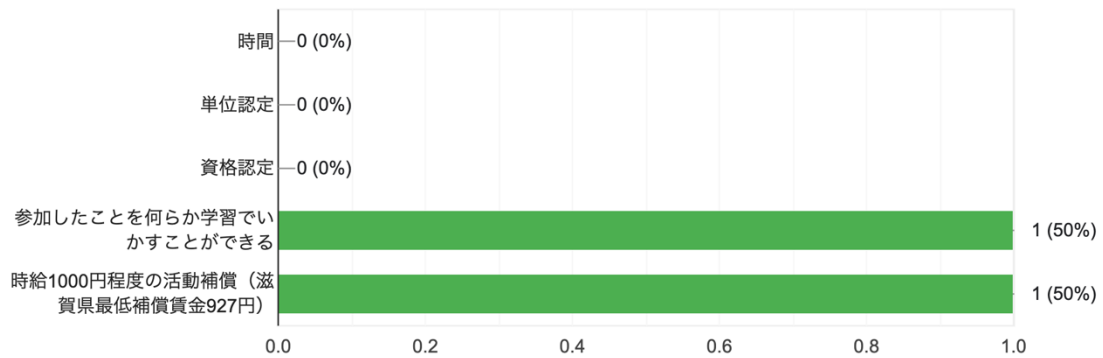
### 学生生活とボランティア活動について

3件の回答



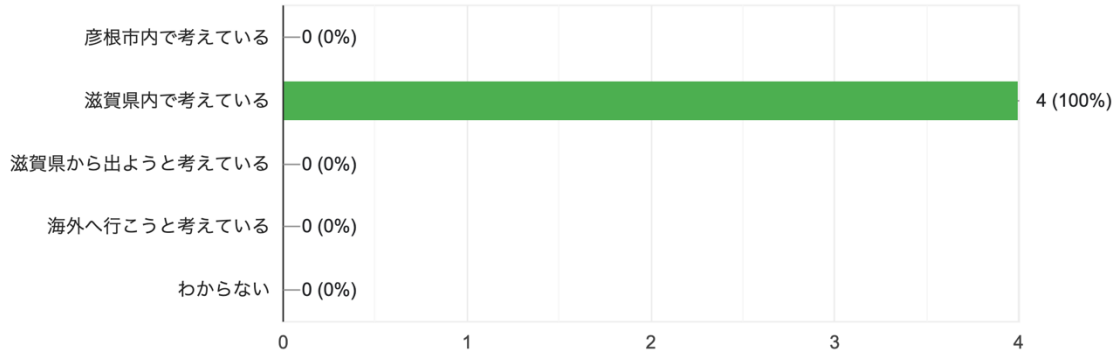
### これがあると参加しやすい...!

2件の回答



### 卒業後の進路について

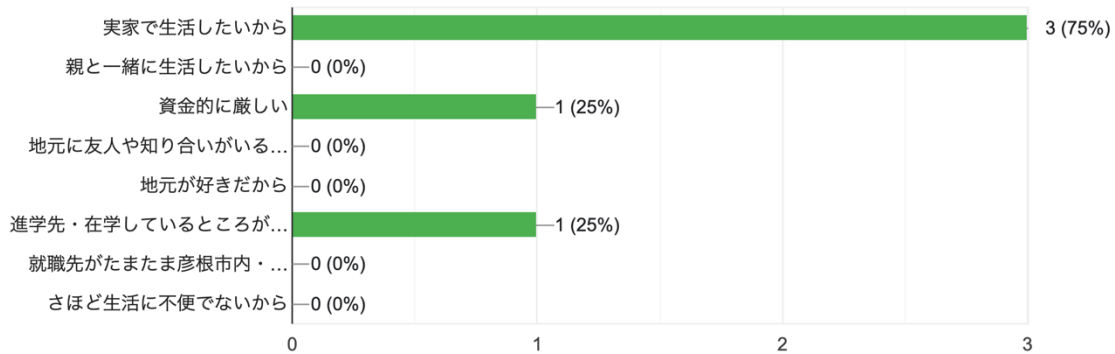
4件の回答



※回答していない学生スタッフ2名が、滋賀県外へ進学。いずれも進学先が滋賀県外のため。

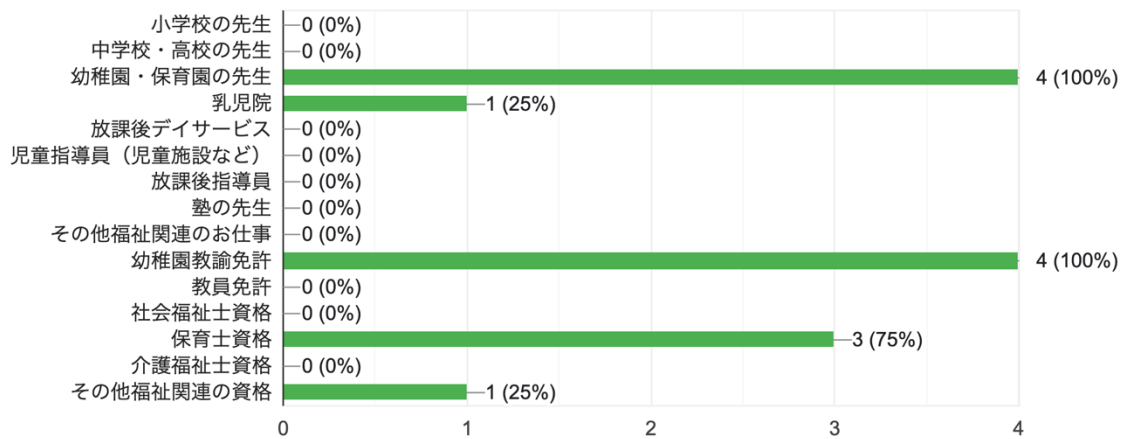
### (市内・県内に残る方へ)

4件の回答



### 取得したい資格やなりたいものなど

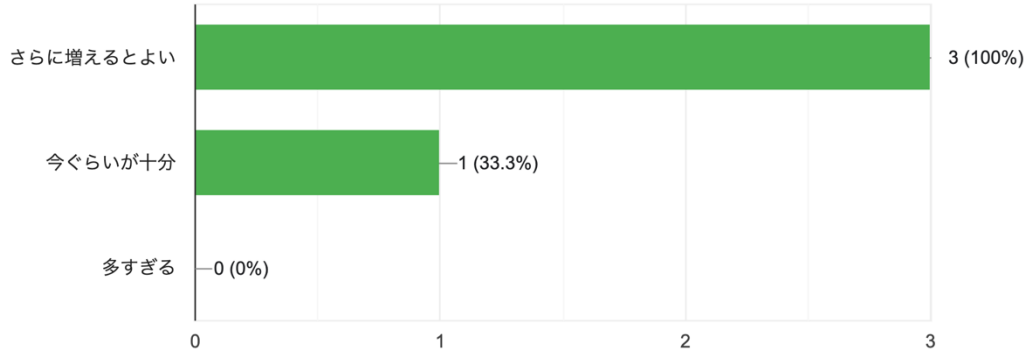
4件の回答



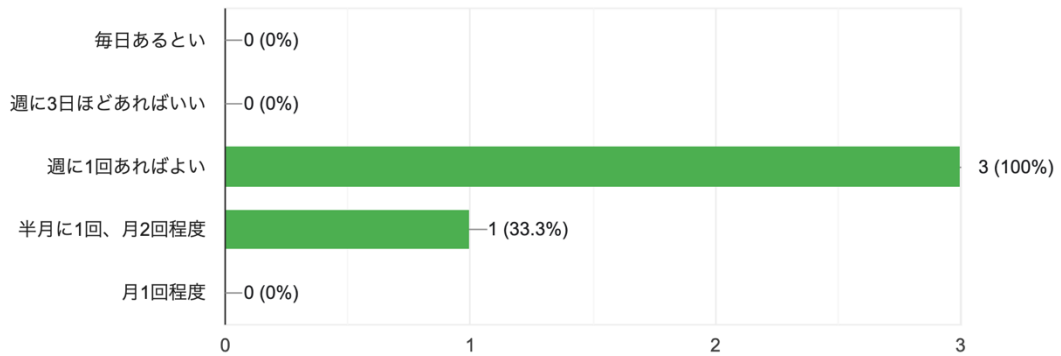
## ●一般スタッフのみ

居場所や食堂の数  
3件の回答

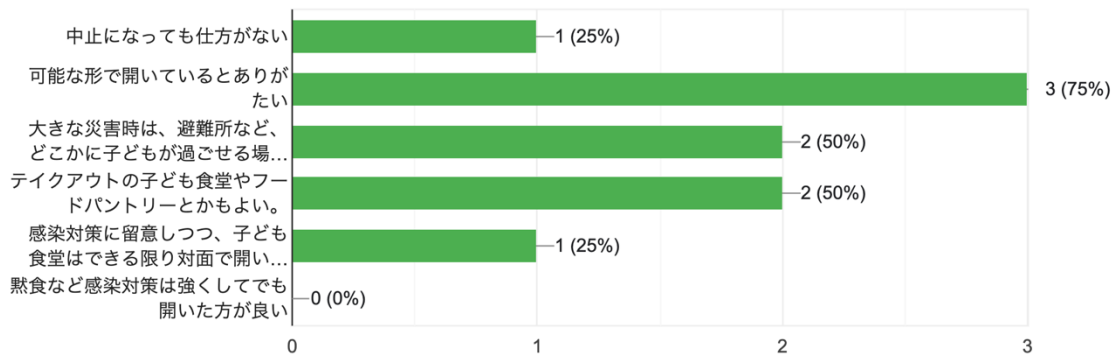
身近な地域に子ども食堂や子どもたちの居場所は十分ありますか？  
またその頻度はどの程度が望ましいですか？



頻度について  
3件の回答

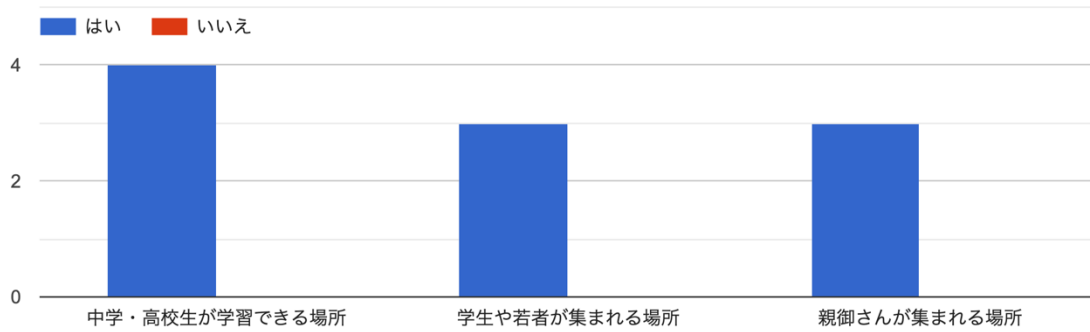


感染症が広がったり、災害が発生した場合、  
どのような居場所活動があるといいですか？

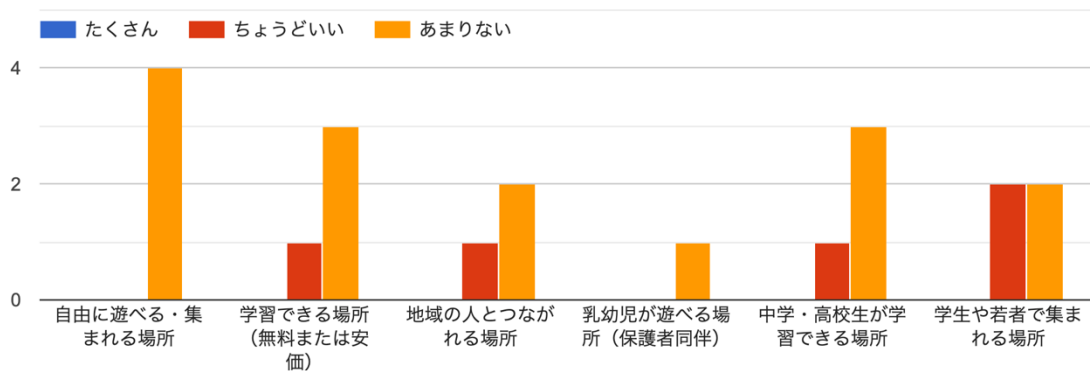




以下のものはあった方がいいですか？

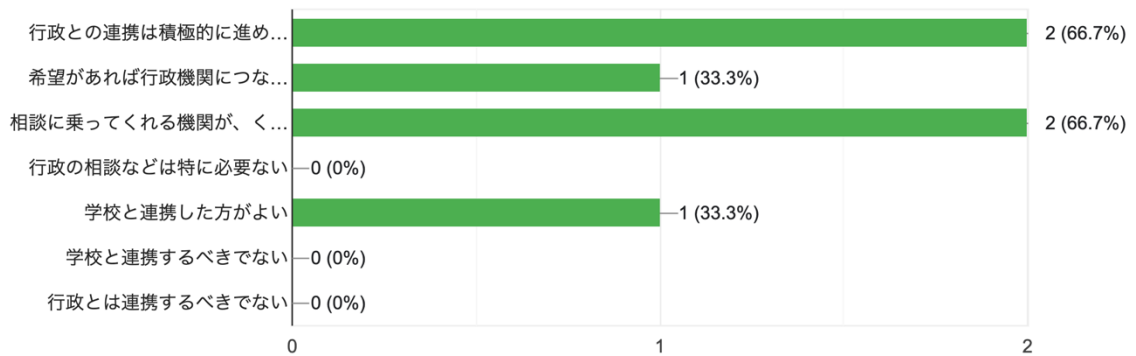


彦根市内の状況について、最も近いと感じるものを選んでください



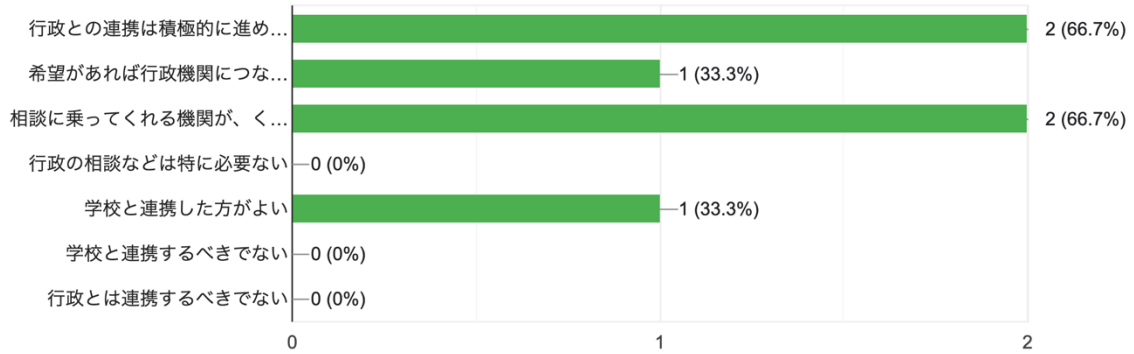
行政・学校との連携について

3件の回答



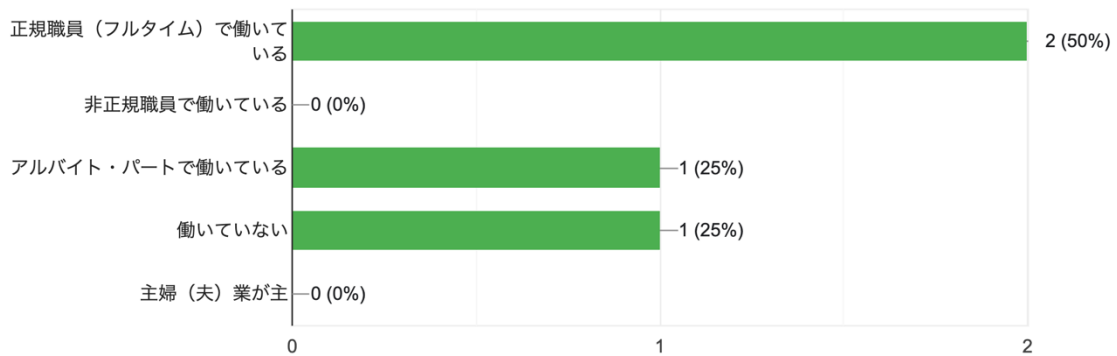
### 行政・学校との連携について

3件の回答



### 現在の生活状況について

4件の回答



### 当てはまるものを選んでください

4件の回答

